

令和4年度（2022年度）第2回北海道入札監視委員会 開催結果

日時 令和5年（2023年）3月17日（金）10:00～
場所 道庁別館9階 第2研修室ほか
（Web会議の方法により開催）

（委員会次第）

1 開 会

2 挨拶

3 報告事項

- （1）令和4年度（2022年度）入札契約執行状況（令和4年9月末）
について
- （2）令和4年度（2022年度）北海道入札監視委員会現地調査結果
について
- （3）談合情報対応状況について（非公開）

4 審議

- （1）抽出審議（非公開）

5 閉 会

令和4年度（2022年度）第2回北海道入札監視委員会 出席者名簿

委員長	大久保 誠
委員	岸 邦 宏
委員	清 平 秀 幸
委員	水野谷 幸 夫

※委員は五十音順、敬称略

関係部局出席者

所 属	職	氏 名
農政部農村振興局事業調整課	事業調整課長	小 坂 敏 秋
//	技術管理担当課長	竹 田 治 人
//	主 幹	澤 田 孝 二
//	課長補佐	上 山 賢 一
//	主 査	小 川 智 且
水産林務部総務課	総務課長	藤 原 啓 裕
//	課長補佐	佐 藤 康 弘
//	管理係長	芳 賀 浩 之
建設部建設政策局建設管理課	建設管理課長	工 藤 一 浩
//	課長補佐	丸 山 直 季
//	主 幹	梅 津 聡
//	工事管理係長	長 澤 賢 志
//	主 査	藤 島 麻 弓
//	主 査	山 田 基 博
建設部建築局計画管理課	計画管理課長	関 根 伸
//	課長補佐	下 佐 充 由
//	課長補佐	尾 崎 孝 一
//	契約係長	鈴 川 哲 弘
//	計画係長	大 村 健 治
出納局財務指導課	財務指導課長	西 堀 謙 二
//	課長補佐	梅 田 政 寿
//	主 査	川 井 由 紀 子
教育庁総務政策局総務課	課長補佐	円 道 博 和
//	決算・会計指導係長	三 浦 裕 也
オホーツク教育局道立学校運営支援室	室 長	下 村 亮
//	契約支援係長	村 岡 義 仁
上川総合振興局旭川建設管理部入札契約課	入札契約課長	松 浦 明 広
//	主 幹	高 田 尚 人
企業局総務課	総務課長	今 田 信 彦
//	課長補佐	田 中 博 文
//	主査（事業管理）	黒 部 将 仁

事務局

所 属	職	氏 名
総務部行政局改革推進課	改革推進課長	古 田 生 介
//	主 幹	宮 下 司
//	主 査	中 谷 小 織
//	主 事	山 本 知 世
//	主 事	鈴 木 峻 平

令和4年度（2022年度）第2回北海道入札監視委員会議事録

1 開会

（事務局：宮下主幹）

ただいまから、令和4年度第2回の北海道入札監視委員会を開催いたします。私、事務局を務めます改革推進課の宮下と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、岡田委員が欠席されてますが、現時点で、北海道入札監視委員会条例に定める開催要件を満たしていることをご報告させていただきます。本日の会議は、第1回目と同様、WEB会議の方法により開催することといたします。ご不便をおかけすることがあると思いますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。尚、ご発言の時はマイクのミュートを解除し、氏名を名乗っていただいた後、委員長からの指名後にご発言いただきますよう、よろしくお願いいたします。また、発言される時以外は、マイクをミュートにさせていただきますようご協力をお願いいたします。それでは、開会にあたりまして、総務部行政局改革推進課長の古田よりご挨拶申し上げます。

2 挨拶

（事務局：古田課長）

改革推進課長の古田です。おはようございます。

本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。行政局長の増田が不在のため、私から代わりに一言ご挨拶させていただきます。

本日の委員会、今年度2回目となりますけれども、昨年9月時点の入札契約の施行状況のほか、委員の皆様にご協力いただきました、胆振総合振興局、オホーツク総合振興局での現地調査の結果の報告と共有、あと談合情報の対応状況などについてご報告させていただくということと、委員の皆様から抽出していただきました、3件の契約案件についてご審議いただきます。道といたしましては、この委員会の開催を通じまして、工事の入札の適正化に努めてまいりたいと考えておりますので、委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見ご提言をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

（事務局：宮下主幹）

ありがとうございます。それではこれからの議事の進行につきましては、大久保委員長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3 報告事項

（1）令和4年度（2023年度）入札契約執行状況について

（大久保委員長）

それでは、報告事項の方に入りたいと思うのですが、この中で談合情報対応状況については、非公開ということになりますので、その時が来ましたら報道陣の方は退席いただくということになるかと思っております。それではまず、1番目の令和4年度入札契約執行状況について、事務局の方から説明をお願いいたします。

（事務局：山本）

入札契約執行状況の報告に先立ちまして、まず、配付資料の説明をさせていただきます。お手元の次第の中段に記載しておりますが、資料の1-1及び資料の2につきましては、報道機関及び関係部にも配布している資料になります。資料の1-2、資料の1-3は大冊のため、資料の3および資料の4につきましては、非公開資料のため、委員及び関係機関のみに配布しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは資料1-1 令和4年度入札契約執行状況に基づきましてご報告致します。1ページになりますが、右上に記載しておりますとおり、令和4年度は令和4年9月末現在、令和3年度は令和3年9月末現在の数値となっております。それでは、1の一般競争入札の実施状況についてです。令和4年度の一般競争入札の実施率ですが、農政部・水産林務部・建設部のいわゆる発注3部におきましては、94.6%。その他部門を含めた全体の実施率についても、95.2%と前年同期と比べまして、発注3部におきましては0.9ポイント、全体でも0.8ポイント、一般競争入札の実施率が上昇したところでございます。次に、2の発注部門平均落札率の状況ですが、工事におきましては、令和4年度の発注3部の平均落札率は95.1%と、前年度同期と比べまして0.2ポイント高くなっているところでございます。

2ページになりますが、その他部門を含めた全体の平均落札率でも94.9%と前年度同期に比べまして0.4ポイント高くなっているところでございます。委託につきましては、発注3部の平均落札率は92.8%と前年度同期と比べまして0.1ポイント低くなっており、その他部門を含めた全体の落札率は92.8%と、前年度同期と同率になっております。

3ページの入札方式別平均落札率の状況ですが、工事の一般競争入札の落札率は発注3部とその他部門の合計で95.0%、前年同期と比べて0.3ポイント高くなっております。このうち総合評価方式の入札では95.0%と、前年度と同率となっており、通常の一般競争入札では0.5ポイント高くなっているところでございます。また、指名競争入札の平均落札率ですが、92.4%と前年度同期と比べ1.3ポイント高くなっているところでございます。

4ページから7ページは参考資料となっております。ただいまご報告いたしました、入札契約状況の発注期間別などの令和4年9月末現在の実績でございます。4ページにつきましては、発注3部関係の工事、5ページにつきましては、工事の各発注機関別、6ページにつきましては、発注3部関係の委託、7ページにつきましては、委託の発注機関別の入札契約実績となっております。

また、8ページから11ページになりますが、発注3部の落札率別の件数と割合のグラフでございます。9ページは工事、11ページは委託のグラフになります。9ページの下側のグラフになりますが、工事では水産と林務において落札率95.0%以上の割合が多く、11ページ下のグラフになりますが、委託に関しましては、農政・林務・土木において落札率が90.0%から95.0%の間で割合が多くなっております。

説明は以上でございます。

(大久保委員長)

ありがとうございました。今の説明について質問のある委員の方いらっしゃいますか。

特に無いようですから、若干私の方からお聞きしていきます。1ページ目の一般競争入札の実施状況について、土木の実施状況が前年度に比べて2.1%上がっていますが、この上がりの幅が大きいのか、小さいのか私にはよく分かりませんが、そのような要因があると考えられますか。

(事務局：宮下主幹)

建設部さんお願いします。

(建設部)

建設部です。

土木における一般競争入札につきましては、予定価格が原則1000万円以上の工事について適用しております。令和3年9月末現在との比較では、全体の発注件数指名競争入札の件数ともに減少しております。一般競争入札発注件数が増加し、実施率が上昇したものと考えております。

以上です。

(大久保委員長)

ありがとうございました。

それから2ページ目のところで委託業務の平均落札率ですが、水産のところで1.4%、ほかのところと比較すれば、若干数字の高い下がり方をしているのですが、これは何か要因がございますか。

(水産林務部)

水産林務部です。

令和3年度が水産環境整備事業というのが最終年度になっており、10年計画なのですが、新たな測量や構造設計の発注が少なく、比較的落札率の高い施工管理委託が多かったため、全体の落札率が上昇しておりました。令和4年度からは、新たな10年計画がスタートしており、比較的落札率の低い測量・構造設計の部分が増えて落札率が落ちたと言うのが原因だと考えております。

(大久保委員長)

ありがとうございます。

それから、この委託業務の平均落札率ですが、教育庁の落札率が85.7%から91.4%、5.7%ということで、結構割合としては高いのですが、これは上がっている要因は何か考えられるものがあるでしょうか。

(事務局：山本)

それにつきましては、事務局の方から回答させていただきます。

教育庁の数字の差ですけれども、昨年の工事が、各高校のトイレの改修工事が多かったもので、昨年、コロナの影響で全道的にトイレの改修工事をしていたのですが、同じ工事が続くと、資材が揃うのがスムーズで、単価が下がっているといたしますか、労働力も軽減されるので落札率が下がってしまっていて、それで今年度と差が開いている状況になります。

(事務局：宮下主幹)

去年が教育全体で34件あったのですが、そのうち15件がトイレの改修工事があったということで、それが同様の設計となるので、1つ設計すると、だいたい同じものでやれるので、低くなりがちだと。今年度は全体で16件なのですが、そのうちトイレが2件しかなく、ほかの工事の割合が多かったので、若干高めに出ておまして、去年は低かったという話を聞いております。

(大久保委員長)

それから、4ページの方に移りまして。工事の部門別入札契約実績のうち土木の方で条件付き一般競争入札を実施しているのですが、これについて工事概要と入札状況を簡単に説明していただけますか。

(建設部)

建設部です。

条件付き一般競争入札1件につきまして、小樽建設管理部で発注した工事でございます。工事が道道小樽環状線交付金最上トンネル工事でございます。令和4年12月23日に58億6347万3000円で契約したところです。工事内容につきましては、小樽市内を通る道道小樽環状線におきまして、事故が多発している急カーブや、急勾配が連続する区間を解消するため、新たにトンネルを作る工事です。工事延長が1187m、道路幅員が10.25m片側1車線となっております。入札結果情報で言いますと、入札参加者は10社すべて特定JVであります。開札が令和4年9月15日。予定価格が63億6927万5000円です。低入札調査基準価格としましては、58億5973万3000円。設定額の率で言うと92%となっております。契約年月日は令和4年の12月23日でございます。契約金額は58億6347万3000円ということで、落札率は92.05%となっております。受注者につきましては、伊藤・松谷特定建設工事共同企業体ということでございます。契約工期は、令和4年12月26日から令和7年9月10日、4カ年の債

務負担工事でございます。この道路の整備によりましてアクセス改善により、余市方面から小樽市内の医療施設への救急患者の迅速で安全な搬送が可能となること期待されているところでございます。

説明は以上となります。

(大久保委員長)

ありがとうございます。

それで同じページの部門別入札契約実績のうち、指名競争入札が、林務で3件実施していますが、指名競争入札とした理由というのはどのようなものですか。

(水産林務部)

水産林務部です。

当該施工箇所はですね、山間奥地の造林事業で使用する作業道の維持工事ですけども、現場までのアクセスの道路で別の工事を実施しておりまして、工事が完了するまで通行できなかったということで、発注時期に制約があるほか積雪などの気象条件を考慮した結果、入札までの期間を短縮できる指名競争で行ったということでございます。

(大久保委員長)

ありがとうございます。

それで、同じページで、指名競争入札は土木の方が例年どおり、数が多いのですけれども。これは特殊技術が必要な工事が多いというのが理由なのでしょうか。

(事務局：山本)

建設部さんお願いしてもよろしいでしょうか。

(建設部)

大体1000万円以下であれば、指名工事をやっておりますので、その要因っていうのは特に分析しておりませんが、普段その変わってない理由っていうのはそういうことで、1000万円以下を淡々とやっているということでございます。

(大久保委員長)

一応、契約方法について指名競争入札する時には、道の財務規則で3つほどの場合があるというふうに挙げられているものですからどれに該当するのかと思ってお聞きしたのですが。

(建設部)

すみません。建設部の入札契約総合システムというところで件数とか金額とか受注業者を把握できるのでですけど、その指名競争入札自体の理由ですとか、そういったところが各建設管理部で所管しておりまして、私どもでその一括管理するようなことになっておりませんので、時間いただければそういったことは分析できると思いますが、現時点で説明することができません。

(大久保委員長)

特にすぐ急ぐわけではないので、次年度の第1回の委員会でも補足的に説明をしていただければいいかなと思います。

どうもありがとうございました。

(建設部)

了解いたしました。

(大久保委員長)

他に委員の方から質問はありませんか。

ないですね。

(2) 現地調査結果について

(大久保委員長)

それでは次が、報告事項の2で昨年、数年ぶりに実施しました入札監視委員会の現地調査結果について、これから報告をお願いするのですが、皆様、現地に赴いていただき、どうもありがとうございました。それでは、まず現地調査結果について、事務局の方から報告をお願いできますか。

（事務局：山本）

令和4年度北海道入札監視委員会現地調査結果について概要をご報告させていただきます。資料は2でございます。本年度の現地調査ですが、胆振総合振興局とオホーツク総合振興局において実施致しました。

第1回目ですが、10月14日に岡田委員と水野谷委員に室蘭市まで足を運んで頂きまして、胆振総合振興局産業振興部農村振興課・水産課・林務課・室蘭建設管理部の工事について調査を行ないました。主な論点と致しましては、制限付き一般競争入札における地域用件設定の考え方や指名選考過程、高落札の要因、入札参加者が少ない要因、談合事件を踏まえた意識の徹底について確認を致しました。

第2回目ですが、10月25日から26日にかけて、大久保委員長、清平委員に網走市まで足を運んで頂きましてオホーツク総合振興局産業振興部調整課・水産課・林務課・森林室・網走建設管理部の工事及び委託業務について調査を行ないました。オホーツクでの主な論点と致しましては、制限付き一般競争入札における地域用件設定の考え方や工事費内訳書の内容確認、予定価格超過の要因、ICTの活用、談合事件を踏まえた意識の徹底について確認致しました。

説明は以上でございます。

（大久保委員）

ありがとうございました。

それでは現地に赴かれた委員の方から、感想なりお話しいただければと思うのですが、まずは、胆振の方にいきました水野谷委員はどうでしたか。

（水野谷委員）

水野谷です。どうもその節は色々ありがとうございました。

私は初めての現地調査ということで特に印象に残っているのは護岸工と離岸堤です。その工事が、農政部が管轄していると言うところがなぜかなと思うと、やはり農地があるということで、そこに対する対策だと言うことを聞きまして、なるほどと言うことが印象に残っております。あと、スーパーの近くに、小さな川が流れているのですけれども、その落下しないようにというその手すりの工事。こもやはり管轄でこういうこともするのだなと、とても印象に残っております。本当に色々ありがとうございました。

（大久保委員長）

続いてオホーツクの方に行かれました、清平委員感想をお願いします。

（清平委員）

10月25日と26日、現地行きまして色々検討させていただいたのと、あと現地に赴いてその砂防ダム、農地の改良の工事を拝見させて頂きました。やっぱり非常に、現場に行くと工事の状況というか、どういう規模でやっているかだとか、農地の改良なんかもすごい広いところを皆さんで工事されているのを見てですね、やっぱりそれなりに労力、資金もかかるなというのは非常に感じました。あと思ったのは、それぞれの審議を先にやってから、現場を見るよりは、現場を見てから審議をしてもいいのかなっていうのは感想として持ちました。

以上です。

（大久保委員長）

ありがとうございました。

私の方も感想をひとつ言うと、やはり農地の改良工事ですね。現場に行って驚きましたね。ま

ず、この広さは何なのだろうと言うので、驚きました。あれだけの広さは図面等で見せられても分かった気になっているように感じるだけで、実際に現場で見ると、ただ広さは何なんだっていうぐらいに、あれを見て、北海道の農業っていうのは本当に規模が大きいんだっていうのを実感しました。ですから、やっぱりできるだけ現地調査っていうのは、私ども年に1回の経験ですけど、やはり行って見ないと、この事業をやっている理由、いかに強い影響を与えているのかっていうのは、非常に感じたいです。先ほど清平先生が、現地調査を1日目にやった方が、翌日の審議をより深く議論ができるのではないのかというようなお話があって、もし日程等で可能であればそういうのも一度考えてみるのが良いかなというのはさきほど聞いて思いました。そのほか、ほかの委員の方はどうでしたか。水野谷先生どうでしたか。

(水野谷委員)

私は日帰りだったものですから、日帰りでも逆にするっていうのは可能だと思うので、また検討したらいいかなと思います。

(大久保委員長)

現地調査については、この程度で終わらせていただきたいと思います。この後は談合情報対応状況について移りたいと思いますので、事務局の方で準備をお願いいたします。

(事務局：宮下主幹)

この後報告致します談合情報対応状況につきましては、報告内容に特定の企業および個人名が含まれます。報告内容の性質及び近年の個人情報等の情報管理の徹底等情勢に鑑みまして、非公開とさせていただきます。趣旨をご理解いただきまして、委員並びに関係部局を除き、ご退席いただけますよう、よろしくお願いいたします。

なお、議事録につきましては、後日改革推進課のホームページで公表致しますので概要のみの公表となりますが、よろしくお願いいたします。

(3) 談合情報対応状況について (非公開)

令和4年度の第1回北海道入札監視委員会以降に寄せられた談合情報は、上川総合振興局旭川建設管理部入札契約課発注の「剣淵川特対改修工事(冬)」1件、オホーツク教育局道立学校運営支援室発注の「オホーツク管内道立学校ポイラー等管理業務委託契約(北見地区)」の2件、企業局発注の契約案件の1件、計4件であり、これらの案件について、資料に基づき、上川総合振興局、オホーツク教育局及び企業局の対応結果を報告したところ、委員会としての調査審議は不要とされた。

4 審議

(1) 抽出審議 (非公開)

建設部建築局計画管理課工事3件について審議を行い、入札参加資格の地域設定の考え方や高落札に至る要因などについて、委員から質問があり、考え方などの説明を行った。